※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 325 |
|---|---|

# 令和５年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | 家庭基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 図説「家庭基礎」（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 図説「家庭基礎」学習ノート　（実教出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう
・「家族や福祉」「衣食住」「消費生活・環境」についてワークシートを基に理解を深めましょう。
・様々な実習を通して科学的根拠に基づいた確かな技術を身に付けましょう。
・家庭生活や地域生活の中から課題を見つけ、学んだ知識や技術を生かして解決方法を考え、グループで話し合い、発表するなどして実践し、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざして工夫しましょう。

## ２　学習の到達目標

・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造する実践的な態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住。消費生活・環境などについて生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 | 家族や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現など、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 | 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

## ４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 自分らしい生き方と家族 | ライフステージと発達課題<br>未来予想図を描く<br>青年期と自立<br>男女共同参画社会<br>働くということ<br>家族の機能<br>家族に関する法律 | a:ライフコースの多様性及び生涯を見通して生活課題に対応することの重要性を理解している。青年期の自立、男女共同参画社会、就業形態、家族の機能や民法について理解している。<br>b:生涯を見据えた生活設計をするにあたり、家庭や地域社会の中で問題を発見して課題を設定したり、よりよい家庭生活を創造するために自立することや男女が協力する視点から課題を設定し、解決策を構想し、実践し、考察したことを論理的に表現して解決している。<br>c:様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて生活設計を考えたり家族が抱える課題の解決に主体的に取り組んだり改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>レポート<br>話し合い発表 | ワークシート<br>レポート<br>行動観察<br>振り返り(自己評価) |
| | 子どもとかかわる | 子どもの心身の発達<br>子どもの食生活<br>子どもの衣生活<br>生活習慣と遊びの意義<br>子どもの安全管理<br>親の役割と親子関係<br>子育てのための社会支援 | a:子どもの心身の発達・生活、親の役割、子育て支援について理解するとともに、子どもと適切にかかわれる技能を身に付ける。<br>b:子育ての意義や子どもの健やかな発達のために親・家族・地域社会の果たす役割について子どもの心身の発達、子どもの生活、遊びなどと関連付けて課題を設定し、解決策を構想して実践し、考察したことを論理的に表現している。<br>c:様々な人と協働し、子どもが健やかに発達することができる社会の構築に向けて課題解決に主体的に取り組んだり改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>レポート<br>話し合い発表 | ワークシート<br>レポート<br>行動観察<br>振り返り(自己評価) |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 高齢者とかかわる | 高齢社会とは<br>高齢者の心身の特徴と生活<br>介護の仕方(認知症を含む)<br>介護保険制度 | a:高齢期の心身の変化、自立生活の支援や介護について理解するとともに生活支援に関する技能を身に付けている。<br>b:高齢者が自立した生活を送るために家族や地域社会の果たす役割について課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。<br>c:様々な人と協働し、高齢者が自立して生活できる社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br><br>レポート<br><br>話し合い発表 | ワークシート<br><br>レポート<br><br>行動観察<br><br>振り返り（自己評価） |
| | 社会とかかわる | 福祉とは<br>日本の社会保障制度<br>地域で支え合う暮らし | a:社会保証制度、共生社会の重要性について理解している。<br>b:家族・地域社会の一員として共に支え合って生活することに関して課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。<br>c:共に支え合える社会の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br><br>レポート<br><br>話し合い発表 | ワークシート<br><br>レポート<br><br>行動観察<br><br>振り返り（自己評価） |
| 二学期 | ホームプロジェクト | ホームプロジェクトの意義<br>ホームプロジェクトの実践方法 | a：ホームプロジェクトの意義と実践方法を理解している。<br>b：自己の家庭生活や地域生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。<br>c：計画に基づいて主体的に取り組み、生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 | レポート | レポート<br>発表 | レポート<br><br>振り返り（自己評価 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 衣生活をつくる | 被服の機能<br>被服素材の種類と特徴<br>洗剤のはたらき<br>持続可能な衣生活<br>和服と洋服<br>日常着の製作 | a:被服の機能や素材の種類と特徴、洗剤のはたらき、５Ｒについて理解するとともに基礎的な裁縫技術や被服管理に必要な技能を身に付けている。<br>b:安全で健康や環境に配慮した衣生活を送るために被服管理や５Ｒなどと関連付けて課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。<br>c:安全で健康や環境に配慮した衣生活を送るために様々な人と協働し、高齢者が自立して生活できる社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>レポート<br>話し合い発表 | ワークシート<br>レポート<br>行動観察<br>振り返り（自己評価） |
| | 食生活をつくる | 日本の食文化<br>ライフステージと食生活<br>栄養素の役割<br>食品表示<br>食中毒・食品添加物<br>食事計画と調理 | a:和食の特徴、ライフステージに応じた献立の立て方、食品の栄養素的特徴、食品の選択、調理操作について理解し、それに係る技能を身に付けている。<br>b:安全で健康に配慮した食生活を送るために栄養素や食品表示などと関連づけて家族・地域社会の中で課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。<br>c:健康で安全な食生活を送るために様々な人と協働し、豊かな食生活が送れる社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>レポート<br>話し合い発表 | ワークシート<br>レポート<br>行動観察<br>振り返り（自己評価） |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 住生活をつくる | 日本の住まい<br>平面図を読む<br>健康な住環境<br>災害と住まい | a:日本の住まいの特徴、平面図の読み方、健康な室内環境、災害への備えについて理解し、住居の管理技術が身に付いている。<br>b:安全で健康な住生活を営むために、住環境や災害への備えに関連づけて家族・地域社会の中で問題を見いだし、課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。<br>c:安全で健康な住生活を営むために様々な人と協働し、豊かな住生活が送れる社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br><br>レポート<br><br>話し合い発表 | ワークシート<br><br>レポート<br><br>行動観察<br><br>振り返り（自己評価） |
| | 消費行動を考える | 契約とは<br>多様化する販売・支払方法<br>クーリングオフ制度<br>消費生活センターの役割<br>ライフスタイルと環境 | a:消費者として責任をもって行動できるよう契約の重要性、販売方法や支払い方法の多様化、クーリングオフや消費者行政のしくみ、資源との関係について理解しているとともに、生活情報を適切に収集できる技能を身に付けている。<br>b:自立した消費者として適切な意思決定に基づいて行動するために、支払い方法やクーリングオフ制度などと関連づけて家族・地域社会の中で問題を見いだし、課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。<br>c:自立した消費者として責任ある行動をとるために様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br><br>レポート<br><br>話し合い発表 | ワークシート<br><br>レポート<br><br>行動観察<br><br>振り返り（自己評価） |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 経済的に自立する | 家計と国民・国際経済<br>収入と支出<br>ライフイベントとお金<br>リスク管理と金融商品 | a:家計の構造や生活における国際社会との関わり、人生の中でのリスクと備えの重要性について理解しているとともに適切に家計を管理できる技能を身に付けている。<br>b:生涯を見通して経済の管理をするために、ライフイベントやリスク管理などと関連付けて家族・地域社会の中で問題を見いだし、課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。<br>c:将来に備えて長期的な経済計画を立てるにあたり、様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>レポート<br>話し合い発表 | ワークシート<br>レポート<br>行動観察<br>振り返り（自己評価） |
| | これからの人生について考えよう | 生活設計を再考する | a:自立した生活を営むために必要な情報を収集・整理し、生涯を見通して自己の生活を設計することができる。<br>b:生涯を見通した生活設計を立てるにあたり、これまで家庭基礎で学んだ知識や技能を生かして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決して設計する力を身に付けている。<br>c:生涯を見通した生活設計を組み立てるにあたり、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 | ワークシート | レポート | レポート<br>振り返り（自己評価） |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度